

平成28年度 施策評価表

課・グループ名	保健福祉課健康子育てグループ
---------	----------------

作成年月日：平成29年10月10日

施策名	②感染症予防対策の推進と充実 4-2-②		
1. 施策の現状分析及び展開方向			
政策・施策の体系	大項目	中項目	小項目
	4. 健康的で自立した暮らしを支える保健福祉と医療の整ったまちづくり	(2) 町民の健康予防対策	②感染症予防対策の推進と充実
①施策のねらいと展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ● 予防接種や検診について、広報記事掲載や対象者への個別案内だけではなく、あらゆる場面での周知を行い、接種率及び受診率の向上に努めます。 ● 感染症の予防策について、正しい知識の啓発と積極的な情報提供に努めます。 ● おたふくかぜの任意予防接種公費全額助成を十分に周知し、接種率の向上に努めるとともに、感染や重症化を予防します。 ● 65歳以上の高齢者を対象とした肺炎球菌予防接種の費用助成を十分に周知し、接種率の向上に努めるとともに、高齢者の肺炎球菌による肺炎の重症化を予防します。 ● 現在公費助成していない任意予防接種について、ワクチンの効果等に関する情報を収集します。 		
②施策の現状と課題	現 状	課 題	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 食中毒予防の情報提供を町民及び主な調理施設へ行っています。また、ノロウイルス等の感染の流行によっては、随時対処法や手洗い等の徹底による予防などを町民及び各施設や各種団体の健康教育で周知しています。 ● 感染症予防対策の一つとして、乳幼児定期予防接種・高齢者インフルエンザ予防接種とエキノコックス症検診を実施しています。 ● みずぼうそうは平成26年10月より任意予防接種から定期予防接種に変更して実施しています。 ● 日本脳炎は平成28年4月、B型肝炎は平成28年10月から定期予防接種に追加されて実施しています。 ● 任意予防接種であるおたふくワクチンは、平成23年度より町で接種費用の全額公費助成により自己負担の無料化を実施しています。 ● 感染症予防、予防接種の正しい理解について、広報記事掲載や対象者への個別案内等のPRの他に各種教室、各種団体の健康教育において周知しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 食中毒やノロウイルスなど発症や感染拡大予防のための、正しい知識のさらなる普及が必要です。 ● 近年、麻疹風疹などの流行、新たな予防接種ワクチンの開発、任意予防接種から定期予防接種への変更など、予防接種を取り巻く状況がめまぐるしく変化しているため、幅広い情報収集、迅速な住民への周知、対応が必要となっています。 ● 予防接種の接種率向上を図るため、十分な住民への周知や情報提供が求められています。 	

2. まちづくりの成果指標の設定、達成状況							
① 成果指標	設定の意図		まちづくりの成果指標名			数値化	
	・接種率を成果目標とすることにより、任意予防接種であるおたふくのワクチンの接種費用を全額公費助成したことによる効果をはかれるため。		成果指標 (総合計画・施策評価)	○	可能		
			感染症任意予防接種率		不可能		
			代替指標 ※成果指標がない場合		未計測		
					指標の設定		
				可能			
				不可能			
※施策目的(施策の意図)の達成状況を把握するための指標を記載しています。							
② 指標データ	単位	過年度実績			評価年度	目標年度	達成率増減の理由
		H25	H26	H27	H28	H28	
目標	%	別紙①					別紙①
実績	%						
達成率	%						
評価視点		評価結果				理由・課題・問題点	
③ 施策の達成状況	A 計画目標に向けて順調に推移 (目標達成は十分に可能である)		施策の達成度		乳幼児期の定期予防接種については訪問、乳幼児健診で接種状況を確認し、未接種者に対して接種の干渉を行った。また、高齢者肺炎球菌については、個別通知、広報掲載、健康教育により接種勧奨を行った。 エキノコックス検診についての減少理由としては、PR不足により、住民の関心が薄れてきている可能性が考えられる。		
	B 計画目標に向けて概ね順調に推移 (目標達成は可能である)						
	C 計画目標に向けての進捗はやや遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)		B				
	D 計画目標に向けての進捗は遅れている (目標達成は難しい)						

3. 施策を構成する事務事業の評価

【種類】事務事業の種類	【必要性】事務事業の必要性	【妥当性】町の関与の妥当性
(1) 自主事業(自主)	(1) 町が保障する町民生活の最低水準に関わるもの	(1) 町が実施主体となり、企業等が補完的な役割を行う事業
(2) 施設管理事業(施管)	(2) (1)を超えるサービスで町民ニーズが大きいと考えられるもの	(2) 実施主体は企業や町民団体等が適当であり、市が補完的な役割を担う事業
(3) 経常的事務(経常)	(3) (1)を超えるサービスで町民ニーズが小さいと考えられるもの	(3) 企業や町民団体等による実施が妥当な事業
(4) ハード事業(ハード)		

①事務事業評価結果											施策への 貢献度 <高い> <普通> <低い>		
事業 番号	事務事業名	種 類	所管 課名	成果指標	評価年度(H28)		事務事業の内容	必 要 性	妥 当 性	事務事業 評価結果 (方向性)		事業費(千円)	
					目 標	単 位						H28実績	H29予算
					実 績								
1	感染症予防事業	(1)	保健 福祉 課	別紙②	別紙②	別紙②	感染症の発症と重症化の予防を図るため、予防接種と予防啓発を行っている。また、エキノкокクス症の早期発見を図るため、エキノкокクス検診を実施している。	I	I	1 現状のまま 継続	15,253	高い	
					別紙②	別紙②					17,529		
											年度別施策全体の事業費合計(千円)		
											H28事業費	15,253	
											H29予 算	17,529	

②H29に実施した新規事務事業					
	実施計画	実施主体	事務事業名	事務事業の内容	H29予算(千円)
1					
2					
3					

評価視点	評価結果		理由・問題点
③事務事業の妥当性 (手段は妥当か)	A 効果的な事業構成である。 (現状のまま継続する)	事業構成の 妥当性	・ 予防接種は、乳幼児や高齢者に対する感染予防と罹患時の重症化予防のため有効であることから、感染症予防対策としては重要な事業である。
	B 概ね効果的な構成である。 (一部見直し等の余地がある)		
	C あまり効果的な事業構成はない。 (見直し等の余地が大きい)	A	
	D 事業構成に問題がある。 (抜本的な見直し等が必要である)		

4. 今後の方向性 ※外部評価(行政評価委員会)											
①総合評価 (今後の展開、 事業の見直し等) 委員会評価	特に課題とすべき指摘事項はない。				事業の 方向性 優先度 A~D (ランク)	事業番号				平成29年度以降 の予算の方向性	
						A					
						B					
						C	1				
						D					
										○	拡大
											維持
											縮小